

ウィンドウズの XP 環境でバーコードを試作した。上記のサイトの PDF メモからパソコンの外字登録を行った。

1. スタートメニューのアクセサリの中に外字エディタというのを立ち上げて作る。(w8、10 では eudcedit)
2. キャラクターデザインは、64 x 64 ドットイメージで作成する。
3. 外字は、F040~F053 に格納した。

外字コード	文字	7-bit Code	キャラクター デザイン案 (32ビット or 64ビット)											
F040	0	0000011	5	5	5	5	5	5	5	13	13	13	8	
F041	1	0000110	5	5	5	5	5	13	13	13	5	8		
F042	2	0001001												
F043	3	1100000												
F044	4	0010010												
F045	5	1000010												
F046	6	0100001												
F047	7	0100100												
F048	8	0110000												
F049	9	1001000												
F04A	-	0001100												
F04B	\$	0011000												
F04C	:	1000101												
F04D	/	1010001												
F04E	.	1010100												
F04F	+	0010101												
F050	a	0011010												
F051	b	0101001												
F052	c	0001011	5	5	5	5	13	5	13	13	13			
F053	d	0001110	5	5	5	5	13	13	13	13	5			

文字パターンのビットイメージ案(NW-7) ※小さい数字は、64ビットへの展開案を示す

4. 実際に外字を使うには、「がいじ」と入力して F5 キーを押すと IME パッド-文字一覧が表示される。

5. 使用例

a 0 7 9 2 3 2 4 8 4 9 0 a



6. 現状における考察

左の様に普通に書き出すと行間が空いてしまう。右側は、テキストボックスの中に左の外字を3行書き込み、それらをすべて段落として定義したものです。

段落の定義の中で、1 ページの行数を・・・グリッド線に合わせる項目のチェックをはずします。

間隔の行間(N)を固定値にし、間隔(A)を 9pt、文字は、そのまま 10.5pt にしたものです。

WORD による手作業でのバーコードの使用は、なんとか出来そうな気配です。プリントアウトも良好です。